

# アジア太平洋地域における安全保障上の諸問題

防衛省防衛研究所

ロシア連邦軍参謀本部軍事戦略研究センター

国際共同研究シリーズ2

平成20年3月

## アジア太平洋地域における 安全保障上の諸問題

発行者：防衛省防衛研究所 / ロシア連邦軍  
参謀本部軍事戦略研究センター

平成20年3月 発行

ISBN 978-4-939034-41-1

防衛省防衛研究所

153-8648 東京都目黒区中目黒2-2-1

TEL: 03-5721-7005 (内線6588)

FAX: 03-3713-6149

Email: [planning@nids.go.jp](mailto:planning@nids.go.jp)

Website: <http://www.nids.go.jp/>

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも執筆者らの所属機関や政府の見解を代表するものではありません。

©2008 The National Institute for Defense Studies and the Center for Military and Strategic Studies. All rights reserved.

本書の全部または一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合には出版者からの書面での許可が必要です。

翻訳協力・印刷：株式会社日本リトリーバル

+

+

+

防衛研究所（NIDS）は防衛省の研究・教育機関であり、防衛・安全保障及び戦史に関する研究と、幹部自衛官及びその他事務系幹部職員の教育を行っています。また近年、諸外国の国防研究機関との研究交流に力を注いでいます。

## まえがき

日本とロシア連邦の防衛交流の一環として、1993年以来防衛研究所とロシア連邦軍参謀本部軍事戦略研究センターとの間の防衛研究交流が毎年続けられ、東アジアの安全保障上の諸問題や日露両国が直面している安全保障上の諸課題等について議論を積み重ねてきたところである。

こうした成果を受けて、日露双方は、平成17年度、18年度の2年度にわたり、アジア太平洋地域における安全保障上の諸問題をテーマとして共同研究を実施し、ここにその成果報告書を発行するはこびとなった。本報告書は、双方の参加者の個人的見解を併記した論文集であり、そこに示された多様な見解は、今後の日露間の安全保障面での協力を考えるうえで参考になると期待する。

本共同研究の執筆者は、日本側（第1部担当）が、坂口賀朗防衛研究所研究部上席研究官（共同研究参加当時研究部第1研究室長）であり、ロシア側（第2部担当）がアナトリー・クリメンコ元軍事戦略研究センター所長（予備役中将、極東研究所客員研究員）及びウラジミール・アフアナシエフ軍事戦略研究センター所長代理（大佐）であり、それぞれが個人の立場で分析・執筆を行った。日本側、ロシア側の担当部分の原稿はそれぞれが責任をもって作成した。

なお、電子メールでの原稿ファイルのやり取りに関し、ロシア側参加者の一人であるクリメンコ元センター所長が現在在籍している極東研究所のビクトル・パブリャチェンコ同研究所日本研究センター所長にご助力いただいたことを付記しておく。

平成20年3月  
防衛研究所研究部上席研究官  
坂口賀朗

# 目次

## 第1部

### 序論

はじめに 日露共同研究の意義と課題

- (1) 日本にとっての意義
- (2) ロシアにとっての意義
- (3) 共同研究の課題と方法

### 第1章 アジア太平洋地域における安全保障の軍事的・政治的基盤

はじめに

- 1 アジア太平洋地域の全般的特徴
- 2 アジア太平洋地域における地域安全保障メカニズムをめぐる問題
- 3 欧州とアジア太平洋地域における同盟

### 第2章 アジア太平洋地域の安全保障を規定する要因

はじめに

- 1 中国の台頭と軍事力近代化
- 2 北朝鮮情勢
- 3 エネルギー問題
- 4 米国と対テロ戦争
- 5 米国のユニラテラリズムと中露

### 第3章 アジア太平洋地域における地域安定及び 地域安全保障メカニズムの将来

はじめに

- 1 同盟の新たな役割と展望
- 2 有志連合の可能性と展望
- 3 アジア太平洋地域における多国間安全保障協力メカニズム

### 結論

## 第2部

### 序論

#### はじめに

#### 第1章 アジア太平洋地域（APR）における安全保障の政治的・軍事的基盤

- 1.1 APRにおける安全保障と安定の主題と内容、ヨーロッパのシステムと比較したその明確な特徴
- 1.2 東アジアの主要国家のドクトリン上の見解、ドクトリンの同時的な分析の必要性、地域安全保障に役立つドクトリンの原則や規定の一致
- 1.3 APRにおける地域安全保障と地域安定の現在のモデルは、協力、力の均衡、その他の視点を基礎にしている

#### 第2章 APRにおける地域安全保障及び地域安定を規定する諸要因と諸条件の分析

- 2.1 21世紀半ばの政治・軍事状況の展開の動向
- 2.2 APRにおける安全保障にとっての潜在的並びに現実の軍事的脅威、その主な源泉
- 2.3 APR諸国の国益とその実現手段との相互関係

#### 第3章 APRにおける地域安全保障と地域安定をもたらすシステムの完成

- 3.1 地域安全保障システムの将来の構造
- 3.2 予防外交の形態と方法の完成の方向
- 3.3 軍事紛争発生の予防のための状況のモニタリング
- 3.4 情勢の安定化のための軍事力の活用
- 3.5 世界平和の維持と地域の安定のための紛争後のモデル

### 結論

# 第 1 部